

令和6年度 まちづくりの方針と 予算

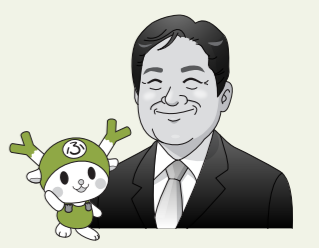
第2次深谷市総合計画後期基本計画
に基づく各施策の推進をさらに加速

深谷市予算 総額 887億9,153万7千円
(一般会計・特別会計・企業会計)
前年度比4.8%増

今年度の予算は、令和5年度からスタートした第2次深谷市総合計画後期基本計画に基づく各施策の推進をさらに加速させるための予算を編成しました。今年度も健全な財政を維持しつつ、将来を見据え、各施策を着実に進めていきます。

『令和6年度施政方針より抜粋』
『元気と笑顔の生産地 ふかや』の実現に向けて

深谷市長 小島 進



昨年を振り返りますと、深谷市では、県内初の保育料完全無償化や幼稚園・こども館複合施設の建設への着手など、子育て世代の負担軽減を進めてまいりました。

また、郷土の偉人渋沢栄一翁の精神とSDGsの目標を踏まえ、第2次総合計画後期基本計画がスタートし、さらには、栄一翁の教えを踏まえたSDGsの実践に向けた取り組みが国に認められ、SDGs未来都市にも選定されました。

不透明な社会経済情勢が続く中で、持続可能な財政運営とともに、少子高齢化による人口減少に対応した市政運営が求められていることは、本市も例外ではありません。

この状況に的確に対応するため、『栄一翁の功績を活かしたまちづくり』、『子育てに重点を置いたまちづくり』、『福祉に重点を置いたまちづくり』の3つの視点から市の魅力をさらに磨き上げ、皆さんに住み続けたい、住んでみたいと思ってもらえるまちづくりを実現できるように、全力で取り組んでまいります。

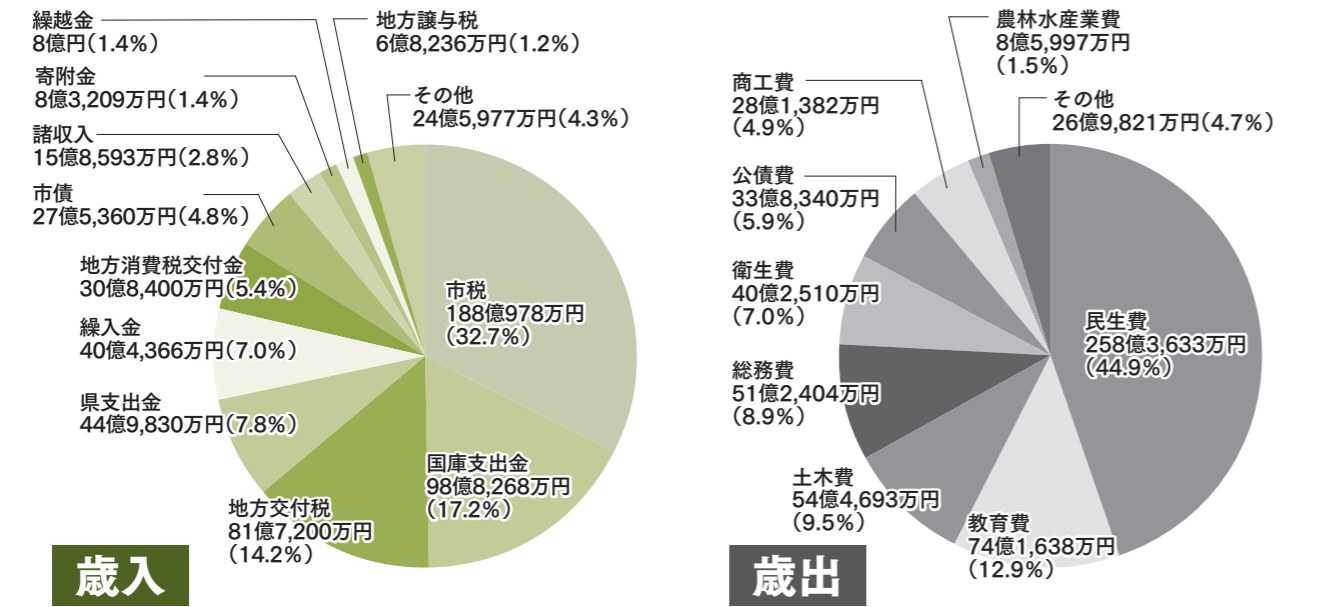
私は、これまで、大好きな深谷をもっと良くしたいという思いと、未来を見据えて、計画的なまちづくりを行いたいという思いで、市政運営に取り組んでまいりました。

今後も初心を忘れず、緊張感を持って、『誰一人取り残さないみんながうれしいふかや』には、『元気と笑顔の生産地ふかや』の実現に向け、力を尽くしてまいります。

一般会計 (市の基本的な事業を行うための会計)

一般会計 当初予算額 576億418万円

一般会計予算額の内訳



歳入
最も大きな割合を占める『市税』は、景気動向などを踏まえ、増加を見込んでいます。

歳出
高齢者や子どもなど、さまざまな福祉分野に使われる『民生費』が、歳出の中で最も大きな割合を占めています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

特別会計 (特定の事業を行うための会計)

予算額 195億6,318万6千円

国民健康保険	150億8,551万4千円
後期高齢者医療	38億9,365万7千円
国済寺土地区画整理事業	5億8,401万5千円

企業会計 (特定の事業をその事業の収入で運営する会計)

予算額 116億2,417万1千円

水道事業	47億5,336万5千円
下水道事業	68億7,080万6千円

市民1人あたりで計算すると...

市民1人あたり約**40.8万円**が使われます。
(一般会計予算を3月1日現在の人口141,314人で計算)

<p>子育て・福祉</p> <p>子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実など</p> <p>約18.3万円</p>	<p>教育</p> <p>学校施設の整備、教育環境の充実など</p> <p>約5.2万円</p>	<p>道路・まちづくり</p> <p>道路や橋の整備・維持管理など</p> <p>約3.9万円</p>	<p>市役所運営・防災</p> <p>住民票や戸籍の交付、防災対策など</p> <p>約3.6万円</p>	<p>その他</p> <p>公衆衛生、産業振興や消防など</p> <p>約9.8万円</p>
---	---	--	--	---

令和6年度
まちづくりの方針と予算

子どもたちの教育と災害時のための環境改善を講じます

中学校体育館エアコン整備工事
設計に着手

▶中学校施設整備維持事業
必要経費：2,250万円

子どもたちの教育・生活の場であり、災害時には避難所となる市立中学校10校の体育館にエアコンを整備し、教育活動中の熱中症対策と、避難所となった場合の生活環境の改善を図ります。

今年度は、令和7年度の設置に向けた設計業務を行います。



体育館内のエアコン設置のイメージ

市内公共交通のドライバー不足解消を目指します

自動運転バスを実証実験
運行

▶コミュニティバス運行事業
必要経費：1億8,000万円

令和5年6月に結成した『深谷自動運転実装コンソーシアム』による産学官連携の自動運転バスの実証実験運行を、昨年度に引き続き、国庫補助金を活用して実施します。

これにより、市内公共交通のドライバー不足の解消を目指すとともに、コミュニティバス『くるりん』定時定路線への自動運転技術の導入を推進します。



実証実験中の自動運転バス

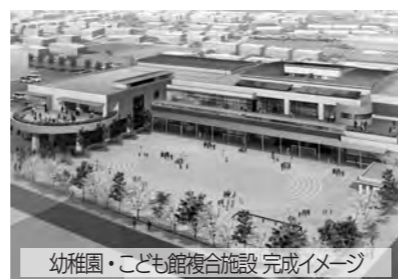
県内最大級の教育・子育て拠点の創出に向け工事を始めます

幼稚園・こども館複合施設
建設工事に着手

▶幼稚園・こども館複合施設建設事業
必要経費：15億25万4千円
(建設工事費の一部と駐車場整備費)

令和8年度のオープンを目指す、『幼稚園・こども館複合施設』の建設工事を開始します。

今年度は、4月から新たな駐車場整備に着手しているほか、施設の建設工事の着工を予定しています。



幼稚園・こども館複合施設 完成イメージ

歴史的建造物の継承と北部地区の観光拠点創出を推進します

ホフマン輪窯の保存修理工事
と一部公開

飲食設備などを含めた活用整備の推進

▶文化財施設管理活用事業
必要経費：8億796万6千円

今年度末の完成に向けて、『旧煉瓦製造施設ホフマン輪窯6号窯』の保存修理工事を進めるとともに、新1万円札の発行に合わせ輪窯内部の一部を公開します。

管理活用棟を新たに設置し、輪窯を紹介するシアター、ガイダンス機能や、輪窯の中でも飲食ができるように厨房設備を整備します。また、輪窯内には、映像や音などを使った体験的な展示構成を検討します。



旧煉瓦製造施設ホフマン輪窯

渋沢栄一翁顕彰の全国的な機運をさらに盛り上げます

新1万円札発行記念事業を実施

▶広域連携事業、渋沢栄一政策推進事業
必要経費：3,448万7千円

■新1万円札発行記念イベント

渋沢栄一翁が肖像となる新1万円札が7月3日(水)に発行されることを市民の皆さんと祝うため、祝賀パレード、トークショー、物産展などの記念イベントを開催します。

また、現1万円札の肖像である福沢諭吉の故郷、大分県中津市と連携し、新旧1万円札のバトンタッチ事業を実施するなど、さまざまなPRを実施します。

■渋沢栄一ひとづくりカレッジ関連事業

昨年に引き続き、渋沢栄一ひとづくりカレッジ関連事業として、公開講座『渋沢栄一ひとづくりフォーラム』、『おしごとフェスタ』を開催するほか、地域活動をしている社会人を対象として『地域プロデューサー養成講座』や、主に高校生、大学生を対象として『起業体験プログラム』を実施するなど、対象別・年齢別に学習プログラムの充実を図ります。

令和6年度
主な
重点施策



グローバル社会を生き抜く児童生徒への教育を推進します

英語教育の拡充！
ALTを16人から29人に増員

▶国際化教育推進事業
必要経費：1億2,423万2千円

児童生徒の英語コミュニケーション能力の育成および異文化理解・国際理解を深めるため、これまで、16人派遣していた英語指導助手（ALT）を29人に増員します。

これにより、市立の幼稚園、小・中学校の全学年において英語に触れる機会を増やし、児童生徒の英語コミュニケーション能力を育成するとともに、英語学習に対する興味関心および学習意欲の向上などを図ります。



ALTとの英語学習の様子

ALTの配置状況(1週間あたり)

対象(市立)	令和5年度	令和6年度
幼稚園	1回程度	1回
小学校1・2年生	配置なし	1回
小学校3・4年生	1回	1回
小学校5・6年生	1~2回	2回
中学校	1~2回	3回